

等持院とうちあんは衣笠山きぬかさやまの麓ふもとにあり。

開基むは夢窓国師そうこくしにして、足利尊氏公あしかたかうぢこうの建立なり。いにしへは仁和寺にんわじの一院といへり。本尊ちざうの地藏菩薩ぼさつ、大聖歡喜天だいしやうくわんきてんの堂、鎮守六請明ちんじゆろくしやうみやうじん神等今しんとうに在り、これ皆むかしの遺跡なり。等持院とうちあんの堅額けんがくは相国義満公しやうこくよしみつこうの筆、足利家累代あしかけの昭堂せうだうは慈照院じせうあん義政公よしかさねこうのいとなみしなり、証果しやうこの額は開山夢窓かいさんむその筆なり。